



# 古事記そして 日本神話と神楽

21世紀も四半世紀を過ぎましたが、世情はまだまだ混沌としているようです。皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

季節は行きつ戻りつしながらも確実に前に進んでいます。そんな5月のひと日、今年も古事記と神楽の世界に触れてみませんか。

令和7年、御鎮座1300年の佳節を迎えた宇佐神宮に、いにしえの神々に会いに来てください。

【日時】 令和7年5月11日(日曜日)

【場所】 宇佐神宮 能楽殿

【進行】 ■正式参拝 午前11時30分～  
(先着20名 ※当日11時までに能舞台にお越しください。)

■開演 午後1時30分～午後3時30分(終演予定)

■朗読 絵本『日本神話』第7巻「天孫降臨」  
朗読：森 北実 チェロ：白沢 史子  
ピアノ：森 実香穂

■神楽 馬場子供神楽「天孫降臨」

■懇親 午後3時  
※演目は変更する場合がございます。

【会費】 3,000円(大学生以下500円、幼児無料)

〈主催〉 絵本『日本神話』出版記念実行委員会  
〈共催〉 一般財団法人 青少年交流振興協会  
〈運営〉 株式会社クリエイツ  
〈協力〉 エンジョイゴルフin大分  
〈お問い合わせ〉 0977-66-3676(クリエイツ) 090-1921-1516(森)

追悼 マークエステル画伯  
(マークアントワヌ スキヤルファシキ)

一般財団法人青少年交流振興協会  
発刊の絵本『日本神話』の挿絵画家  
マークエステル氏が2023年4月24日  
享年80歳の生涯を閉じられました。

日本神話を愛してやまないマーク先生は“日本神話は愛です、愛に満ち溢れています”とおっしゃっていました。

「因幡の白うさぎ」や「八岐の大蛇」など断片的な話として紹介されている日本神話ですが、私たちはマークエステル氏の希望通り「古事記」に沿って全11巻の絵本にする事にいたしました。全編を通してマークエステル画伯の壮大なスケールの絵画が物語の順を追って掲載されています。

マークエステル画伯は氏の祖国フランスでは無く、日本でその生涯を終えられました。私どもは日本人としてあらためて氏の偉業に敬意を表し、半世紀に亘り日本に居ながら氏が日本の神話に注いで下さった情熱と愛を私たちは後世に語り継いで参ります。

会場にマーク先生との思い出の写真を  
掲示いたします。

